※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　商業科

教科	商業科	科目	簿記	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	簿記　（東京法令出版）						
副教材等	最新段階式　日商簿記検定問題集３級（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

個人商店の経理事務に必要な基本知識を身につけ､財務諸表を作成できるようになることを目標とする。また、経理に関する書類から、経営状態を読み取ることができる力をつける。
授業は、簿記の基本である勘定科目の学習から商店の日常の経営活動、帳簿への記入、外部への報告の順で進めていく。
検定試験を取得するためには、あわせて商業演習の講座をとり継続して学習することが望ましい

２　学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動をおこなうことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

（1）簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにします。

（2）取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にもとづいて創造的に課題に対応する力を養います。

（3）企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指してみずから学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている。	簿記をはじめとしたさまざまな知識・技術などを活用し、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することにともなう課題を見いだすとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、簿記に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて工夫してよりよく課題に対応する力が身についている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指してみずから簿記について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、記帳・決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任をもって取り組む態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
４／５／６月	簿記の基本	資産･負債･純資産 収益･費用 仕訳･勘定 仕訳帳･総勘定元帳	a：簿記の原理について理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 b：取引を記録することと決算の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだすことができる。 c：簿記の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	･小テスト ･定期テスト ･提出物	･小テスト ･定期テスト ･提出物	･小テスト ･定期テスト ･提出物
７／８／９月	諸取引の記帳	現金･当座預金･小口現金 3分法(商品売買) 仕入帳･売上帳 商品有高帳	a：取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 b：取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 c：取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

10 ／ 11 ／ 12 月	決算	手形 その他の債権･債務 貸倒･減価償却 資本金･税金 損益計算書･･貸借対照表 起票 仕訳帳･元帳への記入 集計･管理	a：決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 b：決算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 c：決算について自ら学び，適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	･小テスト ･定期テスト ･提出物	･小テスト ･定期テスト ･提出物	･小テスト ･定期テスト ･提出物
1 ／ 2 月	形式別問題	仕訳 帳簿 決算 伝票	a：取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 b：取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 c：取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度